

**JICAボランティア事業の方向性に係る懇談会**

**第3回**

**帰国後の社会還元/国内人材の育成**

**2015年10月8日**

**JICA青年海外協力隊事務局**

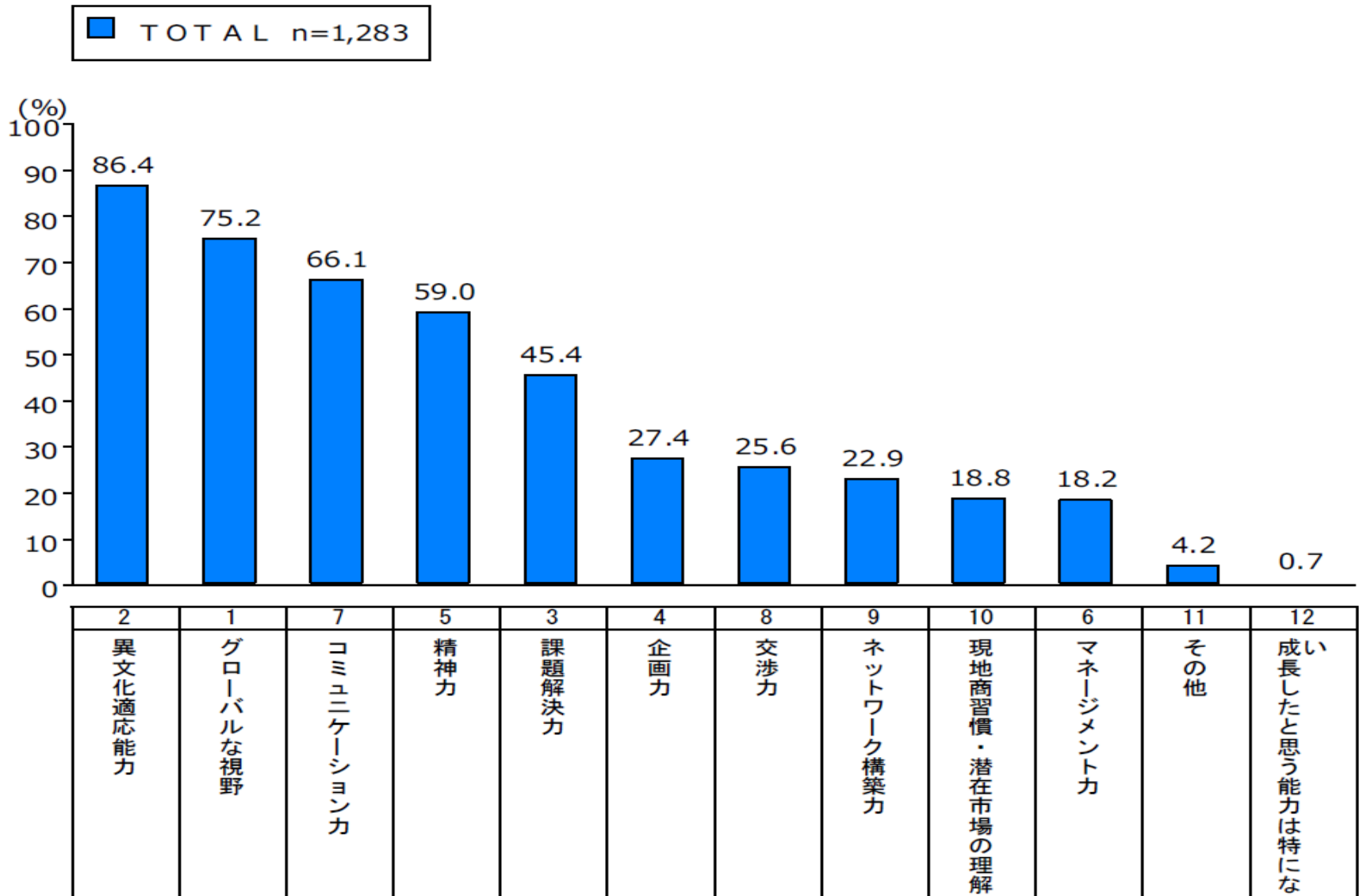
## 帰国ボランティアが 国際／国内社会で **もっと** 活躍するために、 JICAは何をすべきか？

帰国ボランティアが持つ  
経験・能力を活かせる  
**受け皿や機会**を  
もっと広げられるのではないか

日本人の働き方  
(雇用形態、働く場所、  
分野)の多様化

**多様**なボランティア人材に対して  
どのような働きかけをすべきか。

応募動機や活動内容・  
経験が一律ではない



出典：平成25年度～26年度JICA青年海外協力隊事務局委託事業  
「青年海外協力隊帰国後の社会還元・進路状況調査 最終報告書」

開発途上国の  
経済・社会の発展、  
復興への寄与

国際協力志向型 途上国の役に立ちたい

慈善志向型 人の役に立ちたい

友好親善・  
相互理解の深化

好奇心型 途上国を理解したい

自分探し型 外国で生活したい

国際的視野の涵養  
社会還元

ビジネス志向型 キャリアアップに繋がりたい

自己変革志向型 外国で生活したい

出典：2015年7月16日東北大学大学院法学研究科・JICA共催  
青年海外協力隊研究セミナー プレゼンテーション  
「応募動機による協力隊員の類型化—6つの隊員像(白鳥、須田)」

応募



活動中



開発課題への貢献

内面の成長

帰国後



帰国後の活躍

応募者UP

評判UP

## 1) ボランティアへの進路情報提供

- ✓ 全国に23名の**進路相談カウンセラー**を設置(2015年1月現在)
- ✓ 帰国ボランティア進路情報ページを開設、**進路関連情報を提供**
- ✓ OB, OGや人事担当者等を迎え**進路開拓セミナー**の実施  
⇒進路希望にあわせ民間企業、進学、自治体などの分野ごとに分けて、年間計10回程実施

## 2) 能力開発のサポート

- ✓ 隊員経験を効果的にアピールするための**帰国後研修**を4日間開催
- ✓ 帰国後24ヵ月以内に開始した大学、大学院、その他の教育訓練機関においての受験料、入学金、受講料、教科書・テキスト代を経費の80%、上限20万円で**帰国隊員等教育訓練手当**を支給

### 3) ボランティア人材の認知度向上

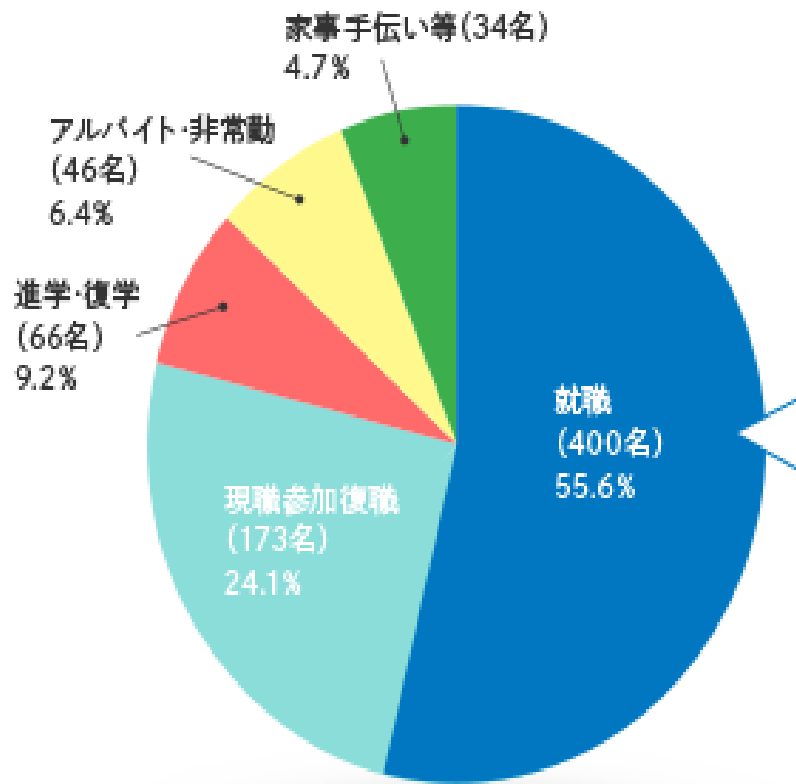
- ✓ 企業にボランティアの魅力を伝え、帰国ボランティアとのマッチングにも貢献するための**企業向け帰国報告会**を実施。  
⇒ 東京では44社、51名の帰国ボランティアが出席。

### 4) 採用優遇措置

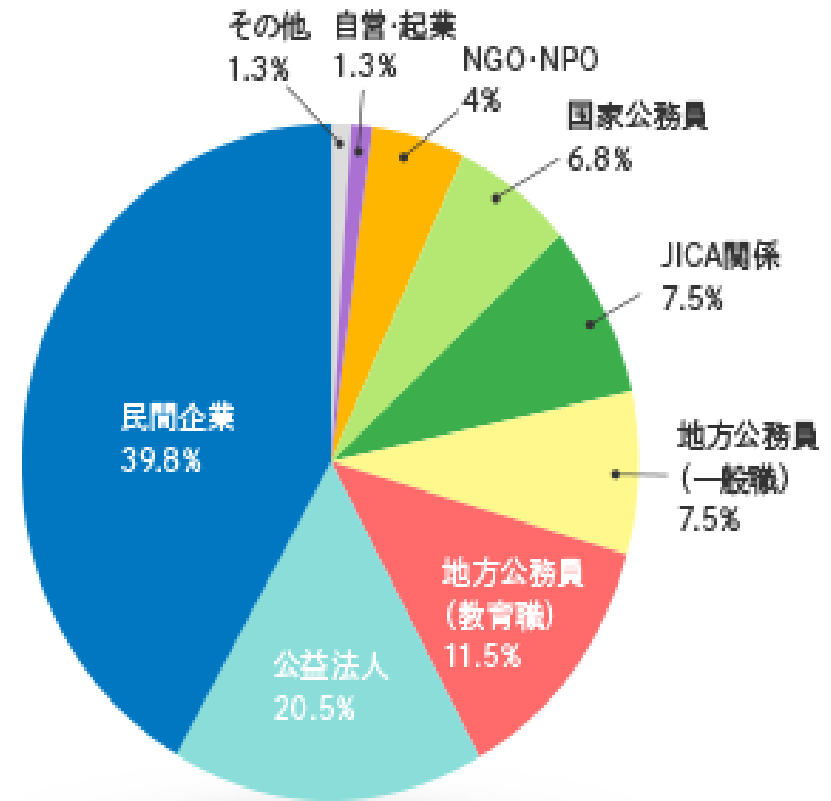
- ✓ 帰国ボランティアの**自治体職員・教員採用優遇措置**の推奨。  
⇒ 教員採用特別枠の設置自治体が34、  
自治体職員特別推薦枠の設置自治体が47あり。(2014年現在)

## 2013年度に帰国した隊員の2014年度における進路決定報告とりまとめ

帰国ボランティアの進路状況(回答719名)



就職先内訳(対象400名)







## 国際協力人材として活躍

世界銀行 社会開発部 大島かおりさん

2007年～2009年 ニジェール  
村落開発普及員

世界銀行 社会開発部  
大島 かおりさん



株式会社 富士通ゼネラル 調達企画部  
行本 貴司さん



## 民間企業の海外進出に貢献

富士通ゼネラル 調達企画部  
行本 貴司さん

2008年～2010年 パプアニューギニア  
理数科教師





## 地方創生への貢献

田谷農園 経営 田谷 徹さん

1997年～2000年 インドネシア  
食用作物・稲作